

市会

教師として37年子どもたちの未来を守りつづけて



格差と貧困の政治が、子どもを直撃しています。仕事に追われて親にかまってもらえない子、お父さんが失業した子…。安倍政権の「戦争する国づくり」は、子どもが一番の犠牲になります。「子どもに笑顔、若者に仕事、老後に安心を」——それが実現できる京都市政をめざして全力でがんばります。

日本共産党  
右京区教育・平和ネット

ほり  
信子

ほり のぶこ

ほり信子



**Profile** 1953年岐阜県生まれ、日本福祉大学卒。広沢小をかわきりに37年間小学校に勤務。教職員組合の執行委員、委員長、京都総評女性部長などを歴任。第2回国連軍縮特別総会に参加。2013年、教諭を退職。現在、党京都府委員会常任委員。



担当学区・地域 嵯峨・広沢・嵐山・常磐野・太秦・南太秦・水尾・宕陰

右京民報

発行/日本共産党西地区委員会 2015年3月 〒615-0016 京都市右京区西院西淳和院町26-2 電話：075-311-4704  
日本共産党西地区委員会は次の見解を發表しました。

子どもに笑顔  
若者に仕事  
老後に安心

安倍政権の戦争する国づくりは子どもが一番の犠牲になります



子どもの未来に戦争も  
原発もありません

教師としてわかる授業・楽しい学校・明るい未来をめざしてがんばってきました。若者を戦場へ送らない！原発再稼働反対！子どもたちの笑顔が輝く教育と平和憲法を守り、生かす政治実現へがんばります。



若者、お年寄りが安心  
できる社会を

長時間過密労働の非正規で働く若者。社会保障が削られ、医療、介護、年金も負担増で不安な老後…。人間らしく生きられる社会、政治をめざします。

住民のみなさんと要求実現へ



市バス料金の均一化に続いて停留所の屋根や接近表示板などの設置を要望



台風被害を受けた桂川の河川整備を共産党議員団と調査



JR太秦駅にエレベーターが設置されます。みなさんの要望が実現しました。

ほり信子さんへバトンタッチ！

市会議員  
岩橋ちよみ

頸椎を痛め引退をすることになりましたが、ほり信子さんが後継者として決意してくれました。ほり信子さんは、37年間、教員として子どもに向かい合っただけでなく、子どもへの深い愛情と平和憲法への強い思いを持つ、情熱とパワーあふれる女性です。長年にわたって私へお寄せいただいたご支援をぜひ、ほり信子さんにお寄せください。

